



#### ④ 皮膚癒痕調整（SCARS）療法

皮膚は身体の中で最も大きな部分をしめます。  
皮膚の固有受容器は関節の位置に関する情報を伝  
え、更に筋の活動の抑制に関与します。

皮膚と脳は密接に関与しており

癒痕ができた際の筋肉の緊張、

張りや痛みを脳が記憶しています。

皮膚をストレッチするとその下の筋は弱化しま  
す。癒痕（手術癒痕、外傷性癒痕）は、ゆっくり  
優しくその下の筋をストレッチすることで筋緊張  
や様々な不具合を取り除く手技療法です。

慢性的な関節の障害が存在する場合、

皮膚の関与を検査します。

（具体例）膝外靭帯の手術は、

大腿直筋や広筋群を弱化させます。

膝の内側の手術は、

縫工筋や内転筋を弱化させます。

虫垂手術の癒痕は、

同側の腹斜筋を弱化させます。

慢性的な関節の障害・関節痛・足関節痛・膝痛・  
股関節痛・腰痛・肩こり・首の痛み・関節の捻挫  
癖等に効果があります。皮膚と脳は密接な繋がり  
がある為、皮膚癒痕で緩めた後に脳身デトックス  
ヘッドスパで頭皮から血流を促進する事で筋緊張  
やストレスをやわらげます。